

様式第12号 (第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

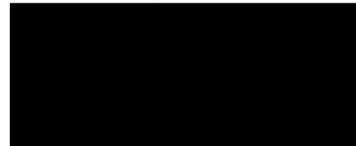
令和 6 年 1 月 15 日

市川市長

団体名 市川児童合唱団
(団体番号 45)

代表者名

所在地



令和 5 年 10 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	1,479,089	円
(2) 補助対象経費総額	370,000	円
(3) 補助金交付決定額	150,000	円
(4) 補助金交付概算払額	150,000	円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	「ひびけ！とどけ！子どもらの歌声、市川の街に」 事業
	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください
補助決定事業の実施内容 計画に照らした事業の実施結果を記載してください	実施時期 令和5年10月08日（日） 実施場所 行徳文化ホール I&I（I&Iホール） 内容 添付したプログラムによる「市川児童合唱団 第48回定期演奏会」を企画・制作し、開催いたしました 参加人数 出演した団員とOG 38名 上演 staff7名、裏方 staff12名（外部講師も含みます） その他の関係者25名 入場者410名 左記入場者の8割が市川市民です チケット番号を記載把握することで、市内の方をカウントしています
広報の実施状況 市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載して下さい	広く市民の参加を呼びかけるため、以下の広報活動を実施致しました ① インターネットを活用し情報発信 →ホームページ ② フリーペーパーへの掲載 →「いちかわよみうり」「アエルデ」等 ③ 広報いちかわ（市民の広場）に掲載 ④ その他 最寄り駅、市立公民館、公立小学校 及び 幼稚園へのチラシ配布とポスター掲示 ⑤ いちかわテレビの取材と放映
	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等、得ることができた成果を具体的に記載して下さい
補助決定事業の成果 課題をどのように解決することができたのかを記載してください	2022年度の市民活動団体補助事業（市川児童合唱団「第47回定期演奏会」の上演）において、2年8ヶ月ぶりに公開の場でコンサートを開催した私たち市川児童合唱団は、その後14人のこどもたち（年長～小3）を新たに仲間を迎え入れて、2023年度にふたたび年来の課題に取り組みました。 私たちの年来の課題とは、こどもたちを怒濤のように飲込もうとする、バーチャルな仮想環境への過度な親和（ゲームへの没頭、SNSへの依存等々）から、如何にしてこどもたちを防備するか、如何にして他者と向い合い血の通った交流を構築すべき機会を提供するか、ということに尽きます。 デジタル技術の発展と浸透によって、今や小学生の低学年まで携帯端末は普及しましたが、環境整備が十分に整わない中で、こどもたちはオンラインゲームに没頭し、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）に依存しています。 こうした状況に危機感を募らせる保護者は少なくありません。本来有用な道具であるべき利器に振り回され、バーチャルな世界に浸りきる子どもたちを、地域社会の大人たちはどのように見守り指導してゆけば良いのか、試行錯誤の日々が続いてをります。 そもそも私たち市川児童合唱団の活動とは、みんなが集まらなければ成立し得ない性質のものでした。みんなが集まって、歌ったり踊ったりして、たえまなく研鑽を積み重ね心をひとつにしてこそ、舞台作品は完成します。そしてそこには何者にも代え難い感動が生まれます。

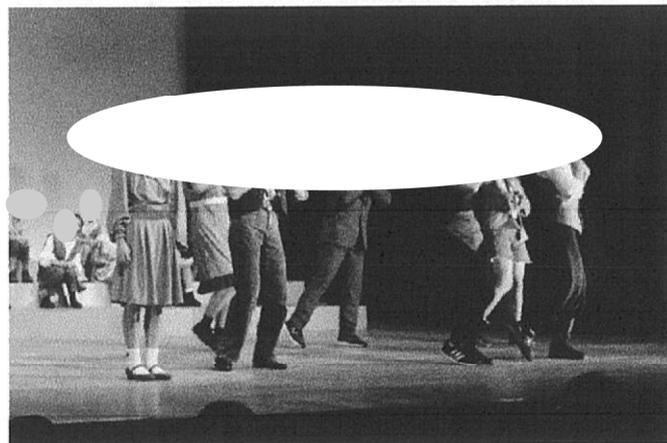
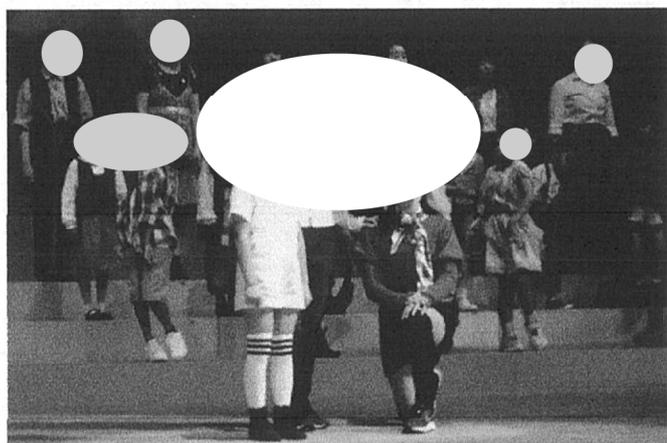
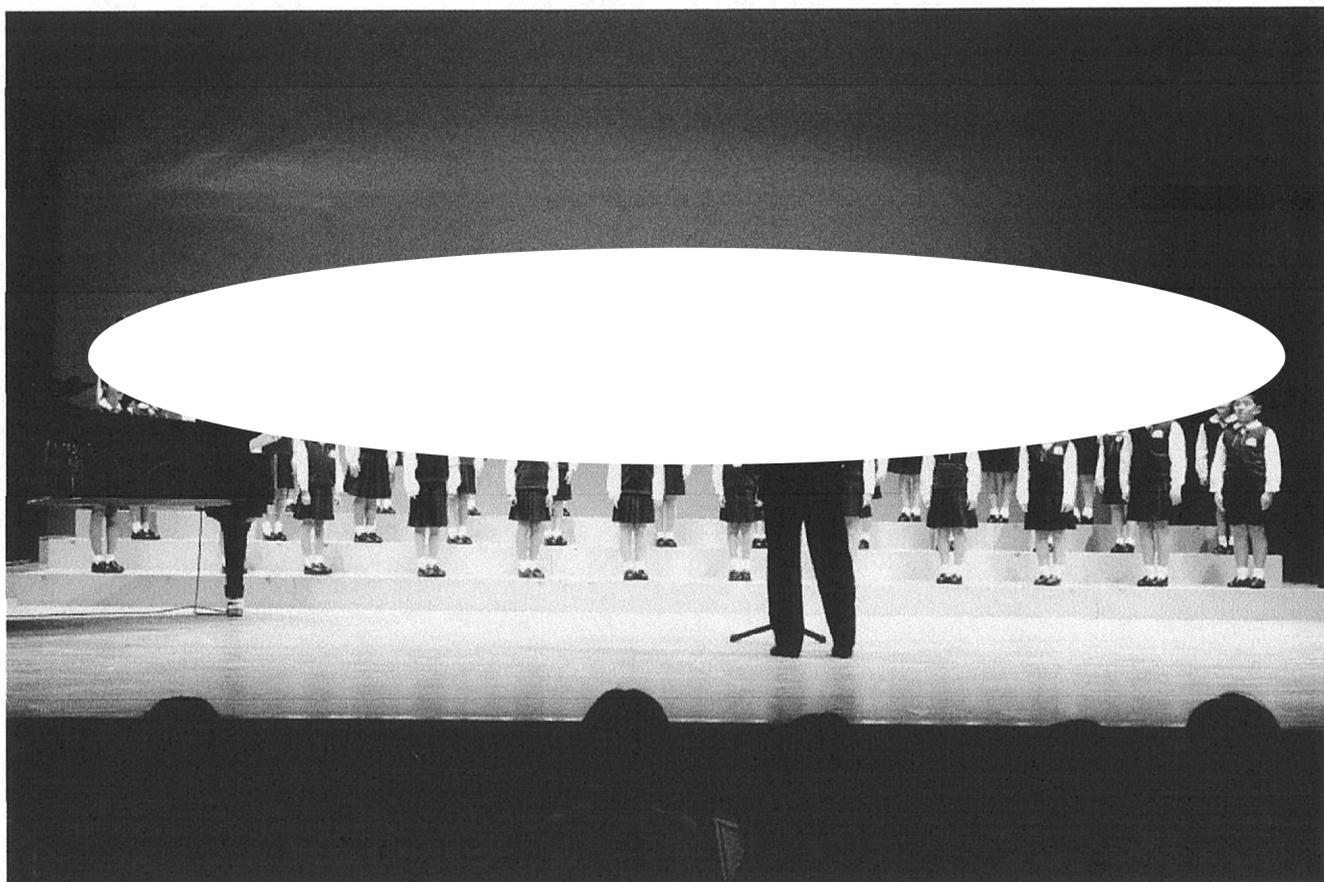
	<p>こうした私たち市川児童合唱団の活動の本来的な方向性こそ、こどもたちを囲繞し蝕もうとする（かも知れない）バーチャル環境からこどもたちを防備する手段のひとつであったとは言えないでしょうか。そしてその方向性に共感したからこそ、今回もまた多くの保護者の皆さんが結集し協力を惜しまなかったのだとは言えないでしょうか。</p> <p>言うまでもなく、市民活動団体補助事業の理解と援助もまた、ひとつの舞台作品（市川児童合唱団「第48回定期演奏会」）を作り上げるために預かって力がありました。市川市からの金銭的な補助があってこそ、外部に委嘱し招聘したプロフェッショナルな方々（振付、演奏、舞台・照明・音響のスタッフ）の助力を可能にしたからです。</p> <p>私たち市川児童合唱団の掲げる課題解決は、いまだ道半ばであることは言を俟ちません。しかしながらこうした上演活動を百折不撓の思いで継続して行くことこそが、課題の解決に至る、必要不可欠な手だてであり方向であるうかと私たち市川児童合唱団は考えております。</p>
	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策</p> <p>(今後の方向性)</p>	<p>インターネット社会がもたらす対人関係の稀薄化は、偶発的のものではなく一過性のものでありません。今後ますます必然の流れとして私たちの社会に浸透し常態化してゆくものと思われまます。</p> <p>そうした既定路線とも言える奔流に対峙して、人と人の顔が見える対人関係を見失わないためにも、バーチャルでない創造活動は、連綿として継続して行かなければならないように思えてなりません。</p> <p>……私たちのささやかな活動に対する共感の輪が少しずつでも広がってゆくよう、広報その他に知恵を絞って行きたいと考えております。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル

市川児童合唱団 第48回 定期演奏会 撮影年月日/令和5年 10月08日 (日)



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称:「ひびけ!とどけ!子どもらの歌声、市川の街に」事業

1 【収 入】

(単位:円)

項目	金額	説明 (積算等)
事業収入	1,218,000	演奏会費 16,000円×38人= 608,000円 8,000円×01人= 8,000円 ダンス・レッスン料 5,000円×38人= 190,000円 2,000円×01人= 2,000円 チケット販売/全自由席 市児 1,000円×1家庭10枚×31家庭= 310,000円 市児 1,000円×1家庭05枚×01家庭= 5,000円 新小岩 1,000円×1家庭06枚×05家庭= 30,000円 一般 1,000円×65枚= 65,000円
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	50,000	協賛金 ニッケ・コルトンプラザ 50,000円
その他 (赤字補填)	61,089	団体の本会計より充当
合計	1479089	

消耗品費	31,952	0	② 事務用品 他 (内訳は領収書を参照) 31,952円 (内 00,000円)
通信 運搬費	26,240	0	② 通信費 (案内状&招待状郵送のための切手等) レターバック 740円 (内 00,000円) 切手 15,960円 (内 00,000円) ② 機材運搬 5,000円 (内 00,000円) ② 駐車場代 4,540円 (内 00,000円)
保険料			
原材料費	10,333	0	② 音楽著作権 JASRAC 10,333円 (内 00,000円)
食糧費	73,495	0	② 弁当代 (内訳は領収書参照) 20,255円 (内 00,000円) ② 打上げ 50,000円 (内 00,000円) ② 菓子折 3,240円 (内 00,000円)
その他			
合計	1,479,089	370,000	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書(様式第11号)を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業取支決算書(様式第12号)とともに領収書を添付する必要があります。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和 6 年 3 月 28 日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
市民後見センターちば
(団体番号 47)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和 5 年 10 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	309,208円
(2) 補助対象経費総額	288,208円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	0円



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：市民に広く成年後見制度を広め、その活用を推進する事業

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	15,000	1,000円×15名
寄附金収入	0	
補助金収入	144,104	市川市市民活動団体事業補助金（概算払無し）
その他 （助成金等）		
会費充当	150,104	団体の本会計より充当
合計	309,208	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	71,000	50,000	第2部：外部講師等の招へい（66,000） ★第1部：当会会員（5,000）
交通費	12,428	12,428	4,602+4,602 356+356 620+620 156+756 360
消耗品費	39,206	39,206	インク3,685+7,812+4,880 コピー用紙1,292 トナー10,450+10,260 リフィル827
印刷製本費	25,007	25,007	チラシ12,170部 印刷料25,007円
通信運搬費	78,383	78,383	ヤマト運輸11月分84 12,1月分1,019 切手420+2,000+3,360+21,000+14,000 レターバック36,500
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	29,661	29,661	会議室使用料1,980+2,070+630 ZOOM22,110円×1/2=11,055 プロジェクター使用料13,926
原材料費			
その他	53,523	53,523	ポスティング代 53,523円
合計	309,208	288,208	

※ 領収書（原本）を添付してください。

(5) 実施報告

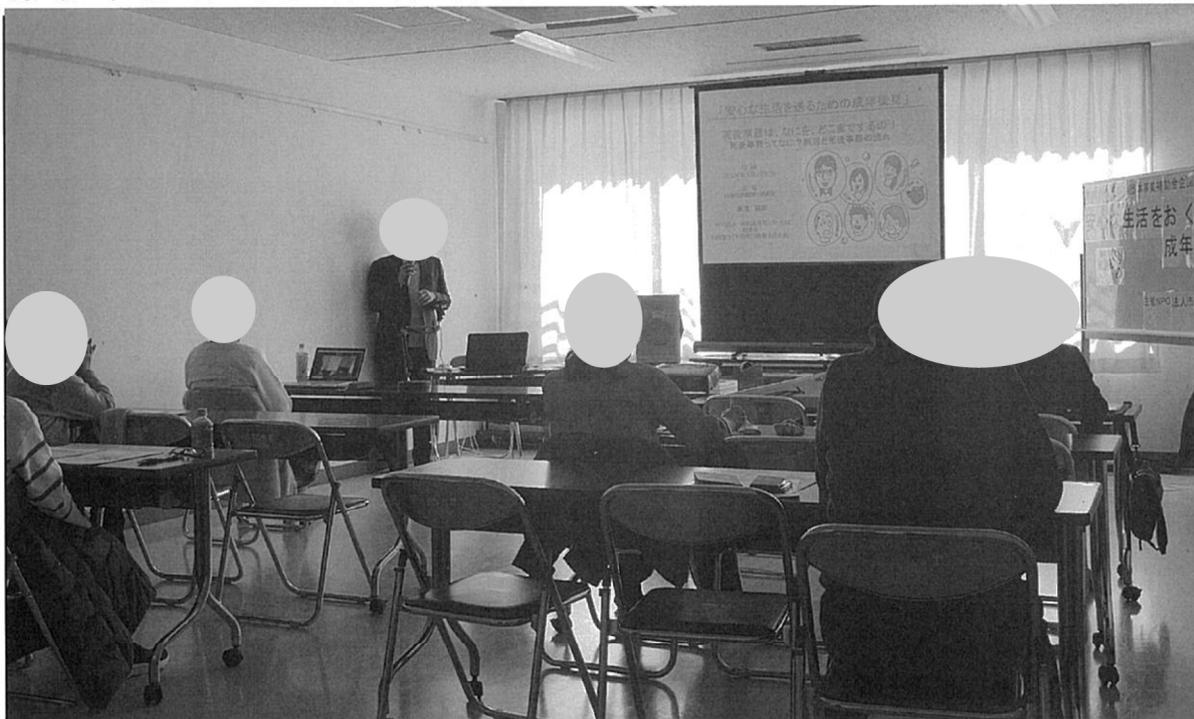
<p>補助決定事業の名称</p>	<p>市民に広く成年後見制度を広め、その活用を推進する事業</p>
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>■研修会(ステップアップ講座)開催 実施時期 令和6年3月3日(日) 実施場所 行徳公民館第1研修室及びZOOMでの開催 安心な生活を送るための成年後見 ～死後事務は、なにを、どこまでするの?～ 第1部「死後事務ってなに?/終活と死後事務の流れ」 第2部「死後事務委任契約を事例から考えてみよう」 講師:司法書士法人 [] 氏</p> <p>参加人数 20名(うち一般市民参加:15名) 当初見込んだ時期で調整がつかず、2月実施予定が3月実施となったものの、研修内容は予定どおり実施できた。</p> <p>■出前講座 問合せは、ありましたが年度内の実施はありませんでした。 ■相談会 10月、11月、12月、1月の第2土曜日に開催するも問合せのみ。 ◇ 3月3日企画に合わせ、2月18日(日)、3月9日(土)にも追加開催するも問合せのみ</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市川市内全公民館にてチラシ配布依頼 ・行徳地域にてポスティング7170戸 ・市川市中心に福祉団体へレターパックで資料の送付
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>ステップアップ講座のアンケートでは、「終活の必要性と成年後見制度について知っておきたかった」「老後に向けてどのような準備が必要か判断能力があるうちに聞いておきたかった」といった内容の回答が多数見られており、自分自身の将来に向けて知識を深めたいと考えている市民の参加が見られた。 講座を受講してのご意見では「制度を知ることができてよかった」「死後事務の委任契約の具体的内容とおよその費用を教えていただいてよかった」「このような企画を年に1度ぐらい開催してほしい」といった内容で、市民に後見制度を広めるという事業に一定の成果が得られたと思われる。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>ステップアップ講座では公民館のチラシによる市民の参加者が以前と比して増えており、また、年齢層は40代から70代と幅広く、成年後見制度を含めた終活への市民の意識の高まりを感じた。 成年後見制度を近々に必要とする人やその関係者だけでなく、広く市民に向けた研修・講座を実施し、成年後見制度とその周辺知識について理解を深めていけるよう活動を継続していきたい。 ★来年度には、一般の方向けの「成年後見と死後事務」についての企画をバージョンアップをし、企画していきたい。 ★併せて、2021年に改定した「成年後見制度をよく知るために」を制度の一部見直しもあったため、この3年の成果として「死後事務」を追加したものを2025年度に作成すべく、2024年度に下準備をしていく。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 第1部 理事長 講義の様子

撮影年月日: 令和6年3月3日(日)



タイトル : 第2部 講師 [REDACTED] 氏 講義の様子

撮影年月日: 令和6年3月3日(日)



市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和 6年 3月 31日

市川市長

団体名

NPO法人 市民後見センターちば

（団体番号 47 ）

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

市民に広く成年後見制度を広め、その活用を推進する事業

2 変更の内容

- ① ステップアップ講座の開催日を2月から3月に変更
- ② 補助対象経費（その他経費）の内容を、新聞折込からポスティングの手法に変更

※目的（補助対象事業の告知・宣伝）、予算額に変更なし。

3 変更の理由

- ① 講師のスケジュールが2月に取れなかったため
- ② 業者よりの提案で、会場付近を中心により配布が可能であったため。



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年3月26日

市川市長

団体名 梨風苑ガーデニングサークル
(団体番号 49)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

2023年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	73,321円
(2) 補助対象経費総額	70,000円
(3) 補助金交付決定額	35,000円
(4) 補助金交付概算払額	35,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	「花と緑のまち運動」事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ・2023年度はメンバーの体調不良や介護などの事情で、活動が難しい時期もあったが、メンバー間で役割分担をして、苗づくりと花壇への移植等を行った。 ・春は大葉（シソ）、イタリアンバジルの苗づくりに取り組んだ。 ・秋はハーブのハボタンの苗づくりに取り組んだ。 ・12月に花壇にチューリップの球根を植えた。 ・メンバーによって整備された大野公園、北側緑地の花壇の状態は良好で、不特定多数の方に喜んでいただき、多くの方に寄付をいただいで活動が継続できている。 ・4月はチューリップ鑑賞会、6月は紫陽花鑑賞会、11月は菊の鑑賞会と花を楽しむ地域交流の機会を作り、多くの方たち楽しんでいただけた。8月には有志で大野公園で流しそうめんを実施し、多くの子どもたちが流しそうめんを楽しんだ。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	広報活動はFacebookを使ったもののみを行った。 https://www.facebook.com/rifuen.gardening.circle/
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 大野公園、北側緑地、そして地域の住宅で四季折々の花が楽しめる状態を作ることができた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 メンバーの高齢化があり、新しいメンバーを募集する必要がある。また、多くの人たちに支援をしてもらえるような仕組みづくりを進めていく必要性もあり、ホームページを作って、ボランティアメンバーや寄付を集める仕組みを作ることになった。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 花と緑のまち運動で育ててきたアジサイの鑑賞会

撮影年月日 : 2023年6月17日



タイトル : 花と緑のまち運動で植えた河津桜が満開

撮影年月日 : 2024年2月29日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：「花と緑のまち運動」事業

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入		
寄附金収入	0	花と緑のまち運動としての募金活動は行わなかった。
補助金収入	35000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	0	
会費充当	38321	団体の本会計より充当
合計	73321	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）														
報償費			外部講師等の招へい なし														
交通費																	
消耗品費	73321	70000	内訳は以下の通り														
印刷製本費			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">消耗品費内訳</th> </tr> <tr> <th>費目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花苗, 樹木苗</td> <td>34,537</td> </tr> <tr> <td>球根</td> <td>11,850</td> </tr> <tr> <td>肥料・薬剤</td> <td>15,567</td> </tr> <tr> <td>園芸用土</td> <td>11,367</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>73,321</td> </tr> </tbody> </table>	消耗品費内訳		費目	金額	花苗, 樹木苗	34,537	球根	11,850	肥料・薬剤	15,567	園芸用土	11,367	合計	73,321
消耗品費内訳																	
費目	金額																
花苗, 樹木苗	34,537																
球根	11,850																
肥料・薬剤	15,567																
園芸用土	11,367																
合計	73,321																
通信運搬費																	
保険料	0	0															
使用料及び賃借料																	
原材料費																	
合計	73321	70000															

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年7月21日

市川市長

団体名 ラーラ・マンドリンクラブ

（団体番号 53 ）

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	549,347
(2) 補助対象経費総額	461,824
(3) 補助金交付決定額	150,000
(4) 補助金交付概算払額	150,000



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	マンドリン合奏を通じての地域文化活動
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 実施時期：令和5年5月28日(日) 内容：ラーラ・マンドリンクラブ第46回定期演奏会 参加人数：1,356人(うち一般市民参加1,300人) 実施場所：市川市文化会館大ホール 第46回 ラーラ・マンドリンクラブ定期演奏会は、予定通り実施できた。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・公民館等公共施設にてチラシ配布 ・広報いちかわ5月号、地域新聞への掲載 ・当団体ホームページ及びマンドリン連盟等のコンサート情報ページへ掲載 ・過去年度来場者への招待はがきの送付
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 1,300人という多くの人々の来場があり、来場者アンケートからは、マンドリン音楽を聞き、明るく前向きな気持ちになり元気がもたらえた、心地よかった等の感想を多くいただき、マンドリン音楽を聴き、心地良いひとときの時間を過ごしていただけたことがわかった。市民にとって身近な文化会館においてマンドリン合奏を通じ地域文化活動として貢献できた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 マンドリン音楽を鑑賞した多くの市民から「楽しかった、感動した」「元気になれる、心が癒された」等の感想を得ており、今後もさらに多くの市民の方がマンドリン音楽を身近に聞くことができるよう、地域に密着した演奏活動を続けていきたい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 第46回 ラーラ・マンドリンクラブ定期演奏会①

撮影年月日 : 令和5年5月28日 (日)



タイトル : 第46回 ラーラ・マンドリンクラブ定期演奏会②

撮影年月日 : 令和5年5月28日 (日)



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：マンダリン合奏を通じての地域文化活動

1.【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	399,347	団体本会計より充当
補助金返金		
合 計	549,347	

2.【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	70,000	50,000	司会者1人20,000円、賛助演奏者1人20,000円 ステージマネージャー1人10,000円 受付2,000円×10人20,000円
交通費			
消耗品費			
印刷製本費	92,523	25,000	チラシ10,000枚29,722円、プログラム2,000部26,675円 アンケート用紙2,000枚4,590円 はがき印刷代31,536円
通信運搬費	103,824	103,824	案内はがき103,824円（63円×1,648枚）
保険料			
使用料及び賃借料	283,000	283,000	市川市文化会館大ホール使用料175,450円 市川市文化会館付帯設備使用料107,550円
原材料費			
合 計	549,347	461,824	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年1月25日

市川市長

団体名 アンサンブル・市川

(団体番号 54)

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	607,030円
(2) 補助対象経費総額	404,000円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	「上質な吹奏楽につつまれて感動の生涯教育を！」
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 第40回定期演奏会 (2023年4月23日) 市川市文化会館大ホールで計画通りに実施 観客数：約960名
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	広報いちかわ・市川よみうり・地域新聞などに開催記事の掲載を依頼しました。またポスター・チラシを市内の小・中学校、公民館や駅、楽器店などに配布すると共に、市内で行われた吹奏楽団などの演奏会にもチラシをはさみこみさせていただきました。 過去の来場者へハガキやメールで演奏会のご案内を差し上げました。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 約3年半ぶりの通常開催となった今回の演奏会では久しぶりの演奏を楽しみにして下さった方も多く、コロナ前の演奏会への来場者数750名を大きく上回る約960名のお客様にお越し頂きました。また演奏会后、高校を卒業したばかりの学生などの新入団員も増えており、生涯吹奏楽を続けられる場としての役割も再び果たせるようになりました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 当団では演奏会のアンケートに連絡先を記載下さったお客様に郵送またはメールで演奏会の案内を差し上げておりますが、登録者数は約1150名に上ります。郵送の場合の登録期間は2年間としておりますが、今回の演奏会での送付先は約650件でした。今後はできるだけメール連絡への切り替えをお願いすると共に、各種SNSでの発信や簡単にメールアドレスが登録できるシステムを取り入れるなどして、経費を削減しながらも多くのお客様に演奏会の案内を届けられる新たな方法を検討・導入して参ります。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 第40回定期演奏会 (第1部)

撮影年月日 2023年4月23日



タイトル : 第40回定期演奏会 (第2部)

撮影年月日 2023年4月23日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：「上質な吹奏楽に包まれて感動の生涯教育を！」

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入		
寄附金収入	200,000	
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	257,030	団体の本会計より充当
合計	607,030	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	0	0	
交通費	0	0	
消耗品費	157,300	84,000	プログラム1,200部(96,800円)、案内ハガキ800枚(33,000円)、ポスター100部(27,500円)
印刷製本費	0	0	
通信運搬費	0	0	
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	449,730	320,000	市川市文化会館大ホール、付帯設備使用料 (前日リハーサルおよび当日)
原材料費	0	0	
合計	607,030	404,000	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年2月1日

市川市長

団体名 国分川鯉のぼり実行委員会
(団体番号 57)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	466,287円
(2) 補助対象経費総額	302,079円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	国分川鯉のぼりフェスティバル
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>国分川鯉のぼりフェスティバルは今年で32回になり、新型コロナの第5類移行直前で通常開催に準じる開催になりました。スローガンである「国分川・春木川の「甦れ清流!」は厳然と継承され、青少年の健全育成や地域の絆の強化に貢献できたと自負しております。開催準備段階での、当実行委員会及び循環パートナー、近隣協力者と共に調整池中池、国分川、春木川周辺の清掃活動は例年通り実施いたしました。今回は通常開催に戻り、①模擬店の出店数は33店舗 ②演芸出演団体数は子ども太鼓、和太鼓、国分高校の吹奏楽、市消防局の音楽隊が見事な演奏で、参加者を更に和ませて頂きました。市の生活環境保全課が発行する浄化緯資料を提供頂き会場にパネル展示し、来場者にも「甦れ清流」のスローガンをアピールしご理解頂きました。1昨年末のご厚意によりマンホール専用基礎が4基に加え新規基礎を8基増設になり、掲揚器500流完成し300匹中規模掲揚にはなりましたが大型鯉のぼりはこのマンホールを悠々と泳ぐことができました。4月29日から5月4日までの6日間会場開放には延べ約9,000人が来場し子どもから高齢者までが楽しく初夏の心地よい時間を過ごして頂きました。また開催地元稲越小学校からは児童の課外授業として見学に訪れて頂きました。田中市長のご挨拶の中に、市川市の3大祭りに認定するとのお言葉を頂きました。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	SNS・自治会広報(1,000部)・商店・近隣企業・自治会掲示板(50ヶ所)・有線TV・市の広報誌・ポスター近隣自治会の掲示板等・各町内外の友人知人各団体、グループ等へのPR活動の実施・地域新聞掲載。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>市川市の補助事業に認定されたことによって、実行委員及び協力者の鯉のぼりに対する意識が高まりました。そのことが本来の目的である国分川・春木川の浄化と環境保全の取り組みとしてご理解が定着して参りました。コロナも5類移行直前になり、地域住民や諸団体限定少数にはなりましたが、会場周辺の草刈りやゴミ拾いを実施いたしました。今は稲越自治会と国分7丁目自治会が中心に行っている国分川鯉のぼりフェスティバルも、国分地区や曾谷地区の各自治会に少しずつ浸透し、協力の姿勢が見えて参りました。住環境の向上は、住んで良かった町になるはずである。</p> <p>また、会場の直近には「いちかわみちの駅」も出来、ドライブ休憩の方々も鯉のぼりを楽しんで頂けることになりました。将来的には川上から川下まで、すなわち松戸市から市川市までの国分川流域の自然環境の保全に繋がるような運動になることを心から期待しています。</p> <p>今回も環境アピールに於いても市川市生活環境保全課のご協力により春木川、国分川や市内河川の水質改善推移のデータ(平成13年から平成28年まで)を提供いただきパネル化し参加者にアピールが出来、我々のスローガンの認識とご協力の啓蒙運動がより充実したフェスティバルになりました。毎年増加傾向にある見学者の安全・安心対策の一つにイベント保険の加入を今回も継続しました。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>事業目的である国分川の水質浄化や環境保全と子どもの健全育成を達成するために、水源を同じくする「春木川をきれいにする連絡協議会」と連携して、水質調査も行い経過をウッチして行きたい。</p> <p>今では市川北部を代表する風物詩として定着しているので、さらに「鯉のぼりフェスタ」もSDGs:持続可能な運営とし、発展させる為には、①ボランティアとして実施可能な規模と構築作業の効率化とは ②実施するための必須マンパワー量 ③実行委員の高齢化と後継者育成 ④資金等 が今後の緊急課題となっている。これらの課題は実行委員の殆どが共有しており、毎回対策を講じている。次回からは、再度全国イベント大賞を獲得に挑戦すべく、地元国分高校等を中心とした若い力を取り込むことによって②、③の課題を改善したく、来年の33回大会に市にパネル建て基礎を12か所申請します。引き続き子どもから大人までの幅広い層に自然保護や水質浄化をアピールしていけると確信している。</p> <p>自然環境はただ見守るだけでは荒廃してしまうので、人間が優しくかわるることによってのみ達成されると確信している。次回からも「いちかわ道の駅」の来場者も鯉のぼりの会場へ足を運んでいただき。我々のスローガンを更にPRするサービスの場として当施設を歓迎すると共に、コラボの相乗効果は多大である。外環道開通と共に、本下水道の敷設も始まり、国分川流域の下水も徐々に完備され、早急に生活排水の流入が無くなる日を期待している。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 第32回記念大会全景と実行委員会の思い！！

撮影年月日: 令和5年5月4日

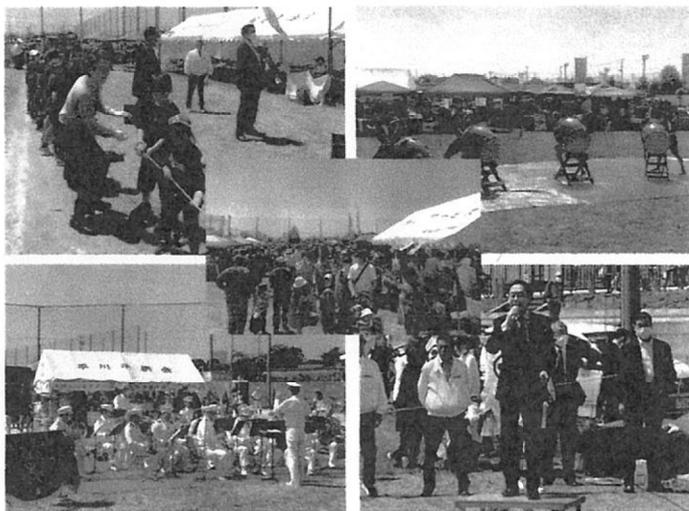


5月4日、国分川調整池緑地 中池 多目的広場で、国分川鯉のぼりフェスティバルが開催されました。平成3年に「甞れ清流」と「子ども達の健全育成」を願って、稲越と国分7丁目の自治会により実行委員会が結成されてから32回目の開催となります。

現在では、市川北西部を代表する風物詩として認知され、市川市の田中甲市長をはじめとする、多くのご来賓の方々や、市内はもとより県外からも大勢の来訪者が訪れていました。また、田中市長は、挨拶で「32回の永きにわたり開催されていることに敬意を表します。私は、「国分川鯉のぼりフェスティバル」を『市川市納涼花火大会』『市川市民祭り』と合わせた市川市の3大祭りとして支援し、財政的な援助もしたいと考えています」と述べられ、実行委員は基より会場で大歓声があがりました。

タイトル : 5月4日 田中市長・実行委員長挨拶・賑わい・演芸

撮影年月日: 令和5年5月4日



イベント当日は、平田子ども会太鼓部による太鼓演奏、和太鼓翔櫻による和太鼓演奏、市川市消防音楽隊、国分高等学校吹奏楽部による演奏などで会場は盛り上がっていました。また、出店も33店舗が出ており、会場では多くの人を楽しんでいました。

鯉のぼり掲揚では、子供達と一緒に、市川市の田中甲市長、
県議会議員、市議会議員の方々も参加されました。

市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：国分川鯉のぼりフェスティバル

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	142,000	直営模擬店売上
寄附金収入	121,000	ご来賓参加費・近隣企業、商店、個人からの寄付金
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	50,000	観光協会より
会費充当	3,287	団体の本会計より充当
合計	466,287	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費			外部講師等の招へい あり/なし
交通費			
消耗品費	260,702	196,694	コピー用紙、インク、ガムテープ、ボールペン、封筒、鯉のぼり15匹等
印刷製本費	20,000	20,000	ポスター制作デザイン費、印刷費
通信運搬費	1,930	1,930	開催案内状、パンフレット送付用郵便料
保険料	27,825	27,825	作業者へのイベント保険、トラック保険
使用料及び賃借料	31,900	29,700	仮設トイレ賃借料、清掃費（29,700円） 道路使用申請（2,200円）
原材料費	25,930	25,930	トラック燃料、会場設営資材費（穴埋め砂、支柱穴埋め用塩ビパイプ、砕石20Kg等）
協力者謝礼金	16,000		協力者への謝礼
食料飲料費	55,000		協力者、実行委員の昼食、飲料
渉外活動費	27,000		実行委員への弔慰金5,000円、生花代22,000円
合計	466,287	302,079	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2024 年 3 月 18 日

市川市長

団体名 赤レンガをいかす会

(団体番号 59

代表者名

所在地

2023 年10 月1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	318,599. 円
(2) 補助対象経費総額	306,792. 円
(3) 補助金交付決定額	150,000. 円
(4) 補助金交付概算払額	150,000. 円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	赤レンガ保存活動2023
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ①講座、ワークショップ等を通じて伝える予定であった事柄が、赤レンガ倉庫の建築調査と見学が実施できたことで一挙に解決した。 ユースグループを中心に千葉商科大学の学生、和洋女子大の学生他未だ建物を見たことが無い社会人が加わり実体験が出来たことは、収穫だった。 ②ユース、千商大学生、和洋女大学生たちのグループに調査研究成果の表現、プレゼ等の技術のワークショップを通じ伝える事が出来た。 ・国府台赤レンガ武器庫と千葉市鉄道連隊炊事棟の比較研究の講演会を開いた。 ③駅南図書館での展示発表は当初の計画よりも実物の調査によってより具体的な研究成果発表が出来た。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	①赤レンガをいかず会ホームページ、フェイスブック等による広報。 ②ミニコミ誌の協力により一般向けの広報を実施。 ③知人を通じたダイレクトに広めた。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ①県のご理解とご協力によって、赤レンガ武器庫を調査見学できたことは最大の成果であった。 ②この体験は、これまで数年間文献や過去の写真等限られた資料によって研究を余儀なくされていたユース会員、千葉商大学生、和洋女子大学生グループにとって、また新しい会員にとってもさらに研究を進めるうえで役に立った。 ③今後も見学会が続けられるよう関係諸方の理解と協力を望みたい。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ①予定に入っていなかった赤レンガ調査研究の実現が県の理解と協力のもとに成立したが、ために事業日程の変更を余儀なくされ作業日程への影響が大きかった。しかし関係メンバーの努力で乗り切ることが出来た。 ②市民活動の良いところは前例にとらわれず、大きな目的から逸脱することが無ければ予定内容を変更してもより成果の上がる方法を選択できることがある。これに即した制度のフレキシブルな運用が為されることが望ましい。 ③市民活動の大きな問題点は活動の中心である人材が継続的に得られない事にある。昔からの会員、若い世代の会員、中間世代の会員のバランスの良い構成が望ましいが実際には難しい課題である。 事業内容を魅力あるものにしつつ新しい人材を得る努力を今後も続けたい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 2023年 赤レンガ建物調査見学会実施

撮影年月日 : 2023年10月13日



タイトル : 模型製作・プレゼ技術 ワークショップ

撮影年月日 : 2023年10月18日



(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

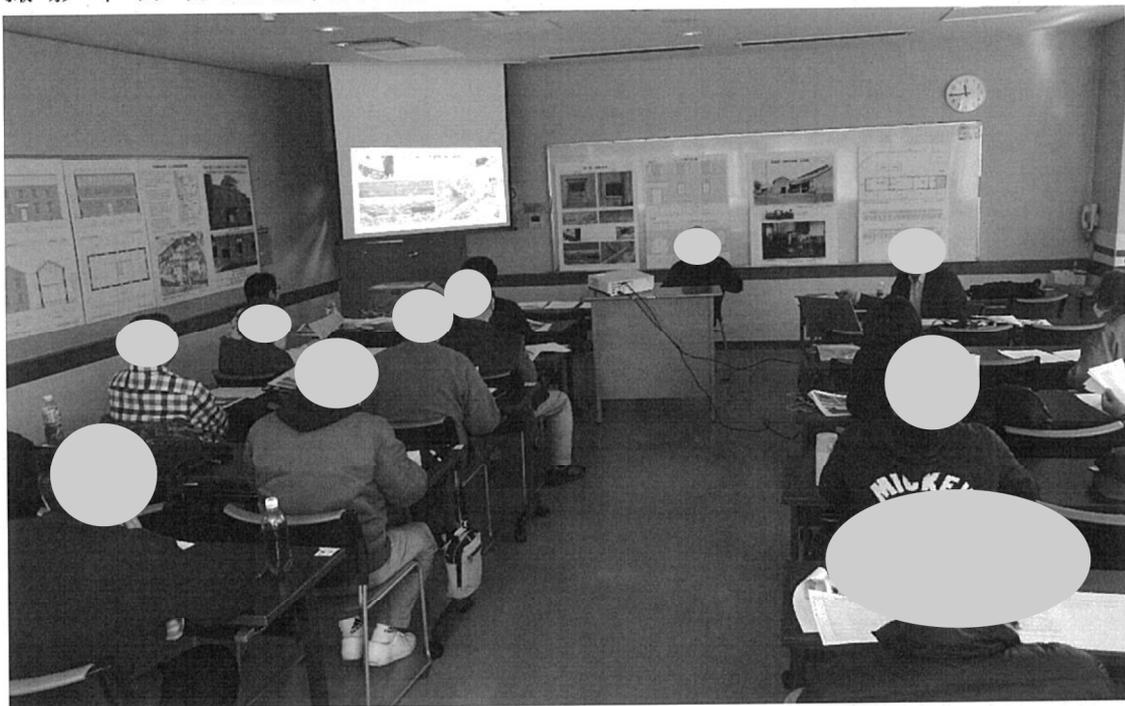
タイトル : 2023年研究成果 図書館展示作業

撮影年月日 : 2023年10月31日



タイトル : 赤レンガ 講演勉強会-1 国府台の赤レンガ武器庫と鉄道連隊炊事棟

撮影年月日 : 2024年2月24日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：赤レンガ保存活動2023

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	11,000	講演・勉強会 資料代@500×22
寄附金収入	100,000	有志より
補助金収入	150,000	
その他 (助成金等)		
会費充当	57,599	団体の本会計より充当
合計	318,599	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	60,000	60,000	講師料20,000×3回人
特別研究費	150,000	150,000	25,000×6人
交通費	15,300	15,000	駐車料1,400+800+1,600 公共交通費11,500別表
消耗品費	44,902	44,902	パネル代@2,120×10枚、P-ink5本、コピー紙他
印刷製本費	26,400	26,400	B1版カラー出力@2,640×10枚
通信運搬費	9,398	9,000	宅急便@1,080×2、切手5,978、スマートレター@180×7
保険料	1,109	0	建物調査・レクリエーション傷害保険
使用料及び賃借料	1,490	1,490	公民館使用料 Zoom利用せず
原材料費			
会議費	10,000		
合計	318,599	306,792	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年3月18日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人 アート空の会
(団体番号 60)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和5年10月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	176,174円
(2) 補助対象経費総額	116,300円
(3) 補助金交付決定額	58,150円
(4) 補助金交付概算払額	58,150円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	市川みんなのアート
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>市川みんなのアート展として、 ①私の一枚・一品展 ②ハートフル・アート展 ③笑顔展 を行ってきました。 ①私の一枚・一品展については、コロナウイルスで心配されましたが、市民の高齢者を中心に、多くの方の参加があり、良くできたと思います。 ②ハートフル・アート展については、商工会議が最近、同じような名称を使って行うようになったために、参加者が少なくなりましたが、その参加者のほとんどが自閉症のある知的障害の作品でしたので、今回、私のところでは主に統合失調症などの精神疾患のある人たちや視覚障害者の作品を中心に展示するようにしました。その結果、作品内容も良くなり、新しい参加者も入り成功したと考えています。 ③笑顔展については、毎年、音楽とのコラボで行うのですが、コロナ感染予防のため音楽演奏は行わず、展示のみにしました。それでも新しく参加した方も、成功したのではないかと考えています。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>私たちの団体は広報活動は公民館等を使用せず、法人事務所と併用しているギャラリーを使用しているため、市の広報誌が利用できません。 そこで、ホームページや地域の情報ページに載せています。 また地域のSMS(まいぶれ)を使用しています。 さらに今年度は市からの連絡があり、市役所に置かれる情報誌にも掲載しました。 今のところ効果は出ているとはいえません。</p>
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>市民の中には趣味や楽しみを持ちたい方が大勢います。しかし、制作するための画材や絵画教室、展示費用は多大な費用がかかるため、市の補助金で安くできるために利用者は大変が助かっています。特に年金暮らしの高齢者や生活保護を受けている障害者は作品づくりにお金がかかるため、みなさん喜んでいきます。また、一人暮らしの高齢者は引きこもりになりがちで、コミュニケーションが少なく認知症にもなりやすくなります。 そこで絵画や音楽活動活動をすることで、仲間もでき、生きがいも生まれ、老後の人生を有意義に送ることができるようになると思います。 障害者にとっても有効な活動です。特に精神障害のある人は人とのかわりができにくいため、絵画制作を健常者と一緒することで対人恐怖や適応障害も良い方向に治癒されていきます。 視覚障害の人たちも、絵画や彫刻はできないものと考えていますが、ワークショップで作品が作れることで喜び感じています。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>補助金事業を実施したことでの課題は、補助金の使用項目が決まっていることです。この事業の目的は高齢者や障害者に絵画や音楽をみんなが交流することで効果を上げるものです。しかし、それが認められない為かひぶかそこに生きがいや喜びを見出すことができるのです。 そのために、絵画では実際に展示作品ができるように、絵画教室やワークショップを実施していますが、その間、お茶やお菓子を出しているのですが、それが認められないために、会費から拠出しています。 また、音楽交流会にはセミプロ級の人に来てもらい、みんなで歌える歌などを演奏してもらうため講師料をわずかながらも支払っています。 しかし、それが認められないために会の方から持ち出しになっています。 この問題を解決するために、毎回、総会で話あっています。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

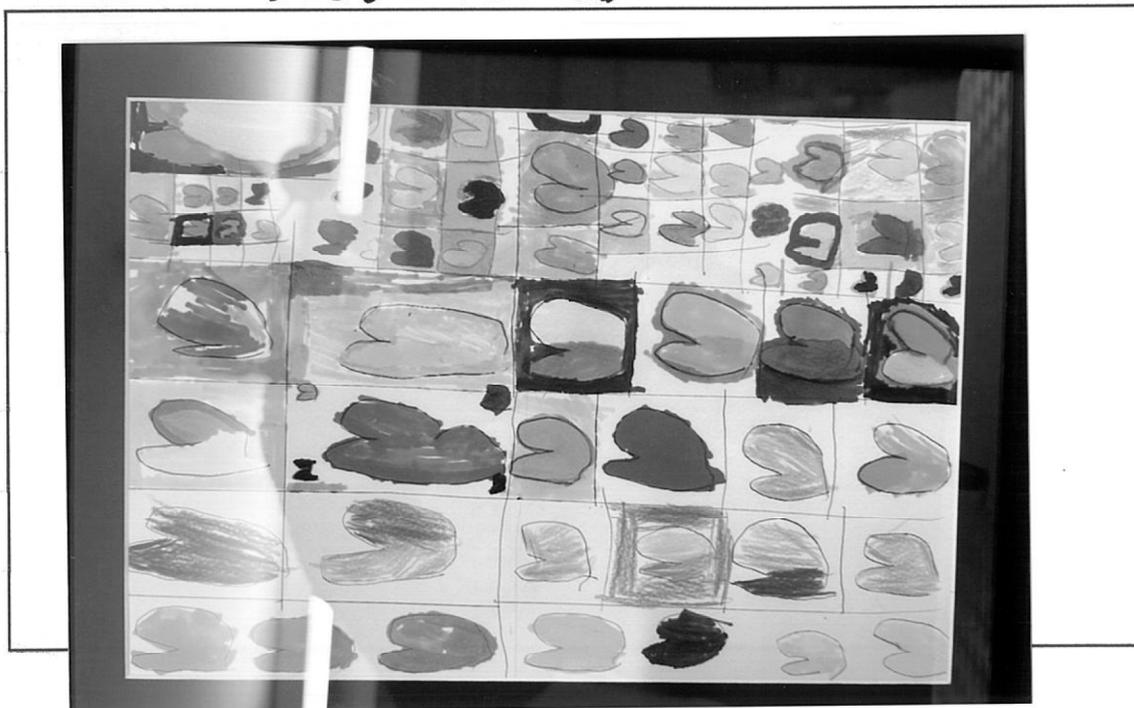
タイトル : 一枚一品展

撮影年月日: 2023.10.6



タイトル : 11-4-24 アート展

撮影年月日: 2023.12.15



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：市川みんなのアート

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	48,000	一枚一品展、ハートフルアート、笑顔展 展示収入
寄附金収入		
補助金収入	58,150	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	70,024	団体の本会計より充当
合計	176,174	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費			外部講師等の招へい あり/なし
交通費	29,700	19,500	八千代台～京成八幡
消耗品費	57,161	50,000	画材、画用紙、キャンバス、事務用品等
印刷製本費	51,051	30,000	ポストカード、チラシ
通信運搬費	17,262	16,800	切手代
保険料			
使用料及び賃借料	21,000	0	電気代、ガス代、水道代（補助対象外）
原材料費			
合計	176,174	116,300	

※ 領収書（原本）を添付してください。